

新山 勝久 議員



一括質問方式

- ① 安全・安心
- ② 閉校施設の除却
- ③ 子どもの遊び場確保

安全・安心について

問 災害時には、消防署と消防団の連携が必要であるが、消防団の雇用体系も変化し、災害発生時の団員招集が課題となっている。地域住民の生命や財産を被害から守るといふ使命の観点から、有事の際、適切な対応ができるのか危惧される。

本市の安全・安心を強化するため、の整備についてお伺いする。

答 大規模な災害が発生した際は、非番番員も招集することになり、

近隣市町の応援が必要な場合は、大規模災害時の応援活動について取り交わした相互応援協定に基づき要請することになります。

消防団を含めた自助、共助、公助の取り組みの中で、できるだけ効率の役割分担を考えながら、必要な体制づくりを行っていくことが重要ではないかと考えており、その上で、消防活動体制に増員が必要であれば、大洲地区広域消防事務組合に対する負担金増額についても、検討していきたいと考えています。

閉校施設の除却について

問 今回の補正予算では、旧大成小にアスベストが含有しているとのこととで、7,300万円ほど上程されている。このアスベストが出たことや、テレビ等でもアスベストによる中皮腫の報道もあり地域住民が不安に思っている。

今後の校舎解体について、住民が安心して工事を受け入れられるような説明をお願いする。

答 煙突の件については、今月12日に大成、蔵川地区の代表者が集まる会で、経緯や工法、およびその工期について説明し、工期等具体的なことが決定次第、地域住民の皆様へに回覧文書で周知することとしています。

今回確認されたアスベストは、いずれも塗装やセメントにより固められている非飛散性のものですが、労働基準監督署や保健所とも十分に協議を行い、関係法令を遵守した上でアスベストが飛散しないよう十分対策を講ずることとしています。

今後、工事期間の延長など地域住民の皆様にはご不便をおかけしますが、地域の皆様の安全・安心を最優先にアスベスト対策工事を実施していきます。

子どもの遊び場確保について

問 公共の公園ではボール遊びができるところが皆無に等しいと思われる。最近のサッカーブームで子供たちがボールを蹴ることが多くなっているが、ボールを蹴れるような広場がないのが現状である。一旦

帰宅して、小学校に遊びに行ける近所の子供たちはいいが、学校から遠い子供たちは、なかなか行けるものではない。家でゲームをする子供も多いが、子供は外で走り回ることも必要ではないか。

そこで、市が所有する未利用地を子供の遊び場として開放することはできないかお伺いする。

答 市の普通財産として管理する土地については、可能なものは売却を進めることで自主財源を確保し、財政運営の健全化を図るべきものであると考えています。

このことから、公用又は公共用に利用する計画のない土地について、平成19年度より「市有地処分計画」を策定し、売り払いを進めているところとあります。

その中で、処分できていない未利用の市有地を子供の遊び場とするためには、万が一の事故等も考慮し、安全対策を施す必要が生じますので、管理者の立場からすると、現状のまま開放することは難しいものと考えます。